

1 学校教育目標

心身ともに健やかで、自ら学び自ら考え、共によりよく生きる子どもの育成

2 目指す姿（学校像・幼児児童生徒像・教師像）

- 児童がよく学び、考え、実践力のある学校
- 教職員が指導力を高め、研修活動の活発な学校
- ことばの力を育てる学校
- 学ぶ環境の整った美しい学校
- 学習・生活規律の基礎基本の定着にみんなで取り組む学校
- 地域の人材・資材の発掘に努め、地域に根ざした教育をする学校

3 現状と課題

本校は、学年3～4学級の規模であるが、全校で学習規律「仁保っ子名人」を指導することで授業づくりの基礎ができ、専科授業や全校集会でも落ち着いて取り組むことができる。また、国道2号線に沿って交通量が多いが、黄金山の豊かな自然や瀬保姫神社などの歴史や文化遺産に恵まれている。マツダ自動車の関連工場や海苔工場、カキ養殖など活気に満ちた町で、古い家並みと新しい住宅が混在している。本校卒業の保護者、地域の方々が多く、学校への協力を進んでいただける。

しかし、本校児童の課題として、個人差が大きく、基礎基本の学力や表現力が十分についておらず、自分の考えや思いを書いたり話したりすることが苦手な児童がいる。

4 目標

<p>[中期経営重点目標] 「基礎・基本」定着状況調査で、通過率60%以上の児童の割合を80%以上にする。また、基本的生活習慣の定着については、達成目標に対する児童・保護者アンケートの肯定的回答を75%以上にする。</p>	<p>[評価指標] 「基礎・基本」定着状況調査の通過率60%以上の児童の割合アンケートの肯定的回答の割合</p>	
<p>短期経営重点目標（2年目）</p>	<p>評価指標</p>	<p>主な具体的方策</p>
<p>言語への関心を持ち読書が好きである児童の割合を80%以上にする。 国語での授業で友達や先生の話の内容を理解し、それをもとに自分の意見を言うことのできる児童を80%以上にする。</p>	<p>児童が言語への関心を持ち、読書が好きであると答えた児童の割合及び家庭で読書していると回答した保護者の割合。 (児童・保護者アンケート)</p> <p>友達や先生の話の内容を理解し、それをもとに自分の意見を言うことのできる児童の割合。 (ふり返りカード) (アンケート)</p>	<p>① 「おすすめの本リスト50（低・中・高）」を作成して持たせ、読書の習慣をつけるために活用する。 ② 読書の足跡を残すカードなどを、学年に応じて工夫する。 ③ 家庭学習の課題の中に「10分間読書」を位置づける。 ④ 「よい本・よい顔・よい時間」図書館祭りを実施する。</p> <p>努力事項研究推進 ① お互いの考えを伝え合う「話す」「聞く」の力を身に付けるために「書く」ことを効果的に取り入れた指導を行う。 ② 「かかわり合い学び合う子ども」を育成するためにペアや小グループなどの学習形態を工夫して授業づくりを行う。</p> <p>基礎基本の学力定着のため ① ぐんぐんタイムでの国語科の補充学習を学年で計画し、進める。(1～4年) ② 家庭学習の定着を図る。</p>
<p>基本的な生活習慣を身に付け自分から進んであいさつをしたり、学校のきまりを守ったりする児童の割合を90%以上にする。</p>	<p>自分から進んであいさつを行い学校のきまりを守ることができた児童の割合 (アンケート) (ふり返りカード)</p> <p>自分の体力や健康について関心を持ち、取り組みを実行できた児童の割合。 (アンケート)</p>	<p>児童が、自分から進んであいさつができるように教師自らが積極的にあいさつを行ったり、児童にあいさつの大切さを指導したりする。</p> <p>-----</p> <p>学年の実態にあった指導を工夫する。</p> <p>食育の推進 ① 給食のきまりである「てまきずし」を活用し、日常的な生活指導を行う。 ② 給食指導の重点週間を設け、児童の関心・意欲を高める取り組みを行う。</p> <p>-----</p> <p>体力づくり・保健教育の推進 ① 体育朝会・運動タイム・重点週間を通じて、体力づくりに取り組む。 ② 病気の予防や衛生に対する関心を高める重点週間を設け、健康で安全な学校生活が送れるような取り組みを行う。</p>